

2. 事業内容

事業期間	令和	4	年	9	月	～	令和	4	年	11	月	
施工箇所	窓のみ											
実施事業	※複数の実施事業がある場合は全て選択して下さい											
	①	Low-Eガラス窓へ交換			②	選択して下さい			③	選択して下さい		
(その他の場合は下欄に記入して下さい)												
導入前の状況	竣工時から改修等の実績なし			複数内容を入力する等、改行をする場合は「Alt」キーと「Enter」キーの同時押しにて実行できます！ ※スペースで無理矢理改行してしまうと、行ずれが発生してしまうためご注意ください。								
導入予定設備等	《導入予定設備》※複数の実施事業											
	Low-Eガラス窓へ交換											
	メーカー	●●(株)										
	製品名	□□□□										
	色・種類	○○-▼▼										
	施工実施方法	既存窓から交換										
	《施工面積や範囲について》※複数の実施事業がある場合は全て記入して下さい											
	事業内容:事務所の20箇所の既存窓を交換 [東面10枚(①) / 南面10枚(②)] 施工範囲:①(東)1.2m×0.7m×10枚=8.4㎡ ②(南)1.4×1.2×10枚=16.8㎡ 計25.2㎡											
	《適合基準の確認》※入カシートに記入する全ての数値について記入して下さい											
	該当	規格	規格名、実証番号	区分	数値							
○	日本産業規格(JIS)	A4710	日射熱反射率	2.3								
			日射熱取得率	0.58								
	環境省の環境技術実証事業(ETV)		選択して下さい									
	国立研究開発法人建築研究所		選択して下さい									
	一般社団法人建材試験センター		選択して下さい									
資産台帳	法定耐用年数 (複数用途がある場合、施工別に記入する)						屋根			年		
	※償却資産台帳(固定資産台帳)に登録する年数を記入して下さい						外壁					
							窓	10				
導入前			導入後			CO ₂ 排出削減予測量						
0.5 t-CO ₂ /年			0.3 t-CO ₂ /年			0.3 t-CO ₂ /年						

※10年間。ただし法定耐用年数が10年未満のものはその法定耐用年数

財産処分制限期間※相当 CO ₂ 排出削減量	2.0 t-CO ₂
--------------------------------------	-----------------------

3. 資金計画

(1) 事業費内訳

(単位:円)

区分	設備費・材料費			工事費	合計	
	単価	数量	計			
補助対象経費	窓工事(東面)	30,000	10	300,000	300,000	600,000
	消耗品・雑材料費	15,000	1	15,000		15,000
	値引き	-47,000	1	-47,000		-47,000
	計(A)			268,000	300,000	568,000
	補助対象外経費	防水工事			500,000	
既設設備撤去費				300,000		300,000
既設設備処分費				100,000		100,000
補修費				100,000		100,000
諸経費				20,000		20,000
計			1,020,000		1,020,000	
小計	※ 見積書の合計額(税抜額)と一致させること				1,588,000	
消費税及び地方消費税額					158,800	
総事業費	※ 見積書の合計額(税込額)と一致すること				1,746,800	

(注) (1) 補助対象経費の区分欄は、導入事業ごとに記載し、その内訳が見積書で明確に確認できるようにすること。

(2) 「出精値引き」など、内訳が明確でない値引きについては、すべて対象経費から差し引くこと。

(2) 補助金申請額

① 上限額

3,000,000

② 補助対象経費の1/3

568,000

× 1/3

= 180,000

(A)



申請上限額

180,000

①、②の低い額

暑さ対策入力シート及び計算結果シート

セル内に必要事項を記入します。セル枠線外には記入できません。注意事項に留意して作成してください。
計算結果は「計算結果シート」にて示されます。

既存窓をLow-Eガラス窓へ交換する場合

I. 事業所概要

作成日 **令和4年4月26日**

1 対策事業所名 **本社工場**
事業実施場所 **埼玉県 **さいたま市****

2 既存空調設備の冷熱源のCOP(成績係数)
熱量効果計算における、既存冷熱源のCOP値は以下の一定値を使用する。
本ファイルの効果計算ではCOP値の変更はできません。
冷房用COP 3.55
暖房用COP 3.95

3 当該施設の操業・営業時間
月の平均営業・操業日数 **20**日/月
一日の平均営業・操業時間 **8**h/日
月当たりの平均操業・営業時間 160h/月

赤い丸で囲った部分が入力箇所

II. 施工内容

対策部位の入力での注意点

1 対策部位 (対策する工事をクリックし選択する。)

※以下の「屋根・外壁・窓」のチェックについて、各列の遮熱と断熱の両方を選択できません。

- 屋根断熱
- 外壁断熱
- 窓断熱
- 屋根遮熱
- 外壁遮熱
- 窓遮熱

2 暑さ対策を行う屋根・外壁・窓ガラスの面積

暑さ対策を実施する屋根、外壁、窓の施工面積を記入する。施工しない場合は「0」を入力する。
方位については、図1、図2を参考にすること。

表-2 各方位の対象面積

対策部位	方位	施工面積(m ²)
屋根	—	
	北	
	北東	
	東	
窓ガラス	南西	
	西	
	北西	
	北	
	北東	
	東	8.4
	南東	
	南	16.8
	南西	
	西	
北西		

対策箇所が外壁や窓の場合は、方角ごとに施工面積を入力

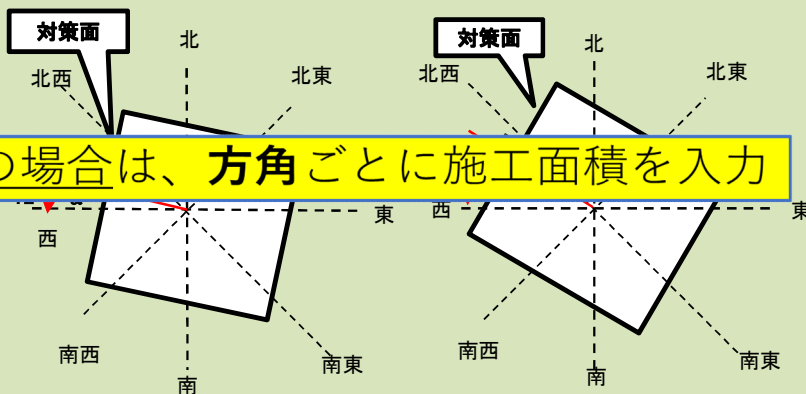


図1 方位の解釈の例1

図2 方位の解釈の例

対策する面の法線(面に対して90度の線)と方角の角度 α が22.5°より、小さい場合、この面の方角面(この場合は西向き)となる。
図2の場合は北西面となる。

Ⅲ. 対策後の熱性能(熱貫流率、日射熱吸収率)

1. 屋根対策

※屋根の対策がない場合は、“デフォルト値”から変更しないでください。

屋根対策の入力での注意点

1.1 断熱

表-3 暑さ対策による屋根の熱貫流率入力表

屋根の熱貫流率 W/(m²K)

★デフォルト値: 3.91W/(m²K)

1.2 遮熱塗装

表-4 暑さ対策による屋根の日射熱吸収率入力表

遮熱塗装の日射熱吸収率

★デフォルト値: 0.7

入力値の簡易計算シートへ

2. 外壁対策

2.1 断熱

※対策を行う方位のみ数値を変更し、対策を行わない方位については“デフォルト値”のままにしてください。

外壁対策の入力での注意点

部位	方位	熱貫流率
外壁	北	1.18 W/(m ² K)
	北東	1.18 W/(m ² K)
	東	1.18 W/(m ² K)
	南東	1.18 W/(m ² K)
	南	1.18 W/(m ² K)
	南西	1.18 W/(m ² K)
	西	1.18 W/(m ² K)
	北西	1.18 W/(m ² K)

★デフォルト値: 1.18W/(m²K)

入力値の簡易計算シートへ

表-6 暑さ対策による外壁の日射熱吸収率入力表

部位	方位	日射熱吸収率
外壁	北	0.7
	北東	0.7
	東	0.7
	南東	0.7
	南	0.7
	南西	0.7
	西	0.7
	北西	0.7

★デフォルト値: 0.7

3. 窓対策

採用する遮熱フィルムやLow-Eガラス窓等のカタログで確認できる、適合基準を満たす熱貫流率及び日射熱吸収率（または日射熱取得率）の値を入力してください。

表-7 暑さ対策による窓の熱貫流率と日射熱取得率の選定表

窓対策の内容	熱貫流率	日射熱吸収率
デフォルト値	5.95 W/(㎡K)	0.876
単層高性能熱線反射相当	5.61 W/(㎡K)	0.490
複層(空気層6mm)Low-E(遮蔽)6t+透明6t相当	2.50 W/(㎡K)	0.415
複層(空気層12mm)Low-E(遮蔽)6t+透明6t相当	1.69 W/(㎡K)	0.408
遮熱フィルム及び上記以外(JISで示された値)	2.3 W/(㎡K)	0.58

注) 申請内容が「既存窓への遮熱フィルム施工事業」の場合は、以下のように入力してください。

熱貫流率：デフォルト値(5.95W/(㎡K)) / 日射熱吸収率(または日射熱取得率)：カタログ等の性能値

※[表-8]の入力について、対策を行う方位のみプルダウンより[表-7]内の該当する対策を選択し、対策を行わない方位については“デフォルト値”のままにしてください。

表-8 暑さ対策による窓の熱貫流率と日射熱取得率の入力表

★デフォルト値:

部位	方位	窓対策の内容	熱貫流率	日射熱吸収率	熱貫流率	日射熱吸収率
					5.95W/(㎡K)	0.876
窓ガラス	北	デフォルト値	5.95	0.876	5.95W/(㎡K)	0.876
	北東	デフォルト値	5.95	0.876		
	東	遮熱フィルム及び上記以外(JISで示された値)	2.3	0.58		
	南東	デフォルト値	5.95	0.876		
	南	遮熱フィルム及び上記以外(JISで示された値)	2.3	0.58		
	南西	デフォルト値	5.95	0.876		

施工面積を入力した方角ごとに、設備の遮熱性能を選択